

「思い / 想いを伝える」

自分自身の思い / 想いを、自分以外の他人に伝えることは、とても大切なことで生きて行く上で必須のことです。思い…頭の中で考えているもの、想い…心の中でイメージするもの、おおまかに言うところの違ひがあるそうです。ただ、自分の思い / 想いを表現し伝えることには難しさを感じたり、こういうことを言っているのだからと躊躇したりすることも多いかもしれません。それと、今は SNS を通して何か自分発信をしようとする人も多くなって来ているというか、それが主流になって来ている。ですが、やはり、面と向かって伝えられる言葉というものには、何よりも大きな力があるのではないのでしょうか。以前、この「エステ B プラン」vol.20 「言葉を紡いで相手に伝えよう～世の中は優しくできている」という記事の中で、思い / 想いを言葉にして伝えることの大切さを述べさせていただきましたが、今回もう一度、そのことに関してお届けしたいと思います。

言葉で伝える大切さと難しさ

先ほども言いましたように、言葉で伝えるということは、とても大切だし大きな力があると思います。が、それだけに表現の難しさや、伝えるタイミングの難しさはあります。これについて、以前の記事「エステ B プラン」vol.20「言葉を紡いで相手に伝えよう～世の中は優しくできている」から抜粋してみます。(以下、抜粋)

人に何か自分の思いを伝える手段としては、まずは「言葉」で伝える、それから嬉しい・悲しいなどの「表情」で伝える。そして、受けて入れている・拒否しているなどの「態度・ボディランゲージ」等で示すのが代表的な例として挙げられると思います。

その中でも特に「言葉」は圧倒的に多くのことを伝える手段であって、自分の思いを相手に伝えるには「言葉」なくしてはあり得ないですね。もう、「言葉」が何と言っても一番です。ただ、「言葉」というものはどうしても制限があって自分の思いを余さず全て伝えることはできないものです。何かまどろっこしさを感じますが…。テレパシーか何かで、自分の思っていることをイッキに相手に伝えることができればいいのですが、それができるはずありません。ですから、「自分の思い」「大切なこと」は、やはり何とか「言葉」を駆使して伝えていくしかありませんね。

ただ皆さん、「言葉」を伝えるときに、こういう事を言っているのだからとか遠慮がちになってしまったり、また言っているのだからと迷っているうちに言うタイミングを逃してしまったりと、こういうことをよくやってしまいませんか。(抜粋、以上)

このように自分自身の思い / 想いを伝える手段には、「言葉」「表情」「態度・ボディランゲージ」等が考えられますが、中でもやはり、「言葉」というものが圧倒的な力を持っていると思います。だからこそ、「言葉」は人に感謝であるとか、いろいろな大切な思い / 想いを本当に伝えることができるし、人を力づけたり勇気づけたりすることができます。ただ、圧倒的な力があるだけに、

一方で人に不快な思い / 想いをさせたり、傷つけたりもします。

そして「言葉」というものは、力があるからこそ、やはり難しくもあります。…こんなことを言ってもいいのだろうか…こんな表現の仕方での人に伝えてもいいのだろうか…と、こういった類いのことはよく考えてしまったり、直視したりするのではないのでしょうか。また…今、これを言っているのだからと迷っているうちに言うタイミングを逃してしまったり、結局、何も伝えられないまま終わってしまっている、というようなこともあるのではないのでしょうか。「言葉」というものは、どうしても制限があって、自分の思い / 想いを 100% 伝えきれはしないものです。「言葉」にした途端にどうしても制限が掛かってしまいます。テレパシーで 100% 伝えることができればいいのですが、それがまだ適うはずありません。だからこそ、「言葉」の表現の難しさや、伝えるタイミングの難しさを感じてしまいます。

思い / 想いを伝えるタイミング

言葉で自分の思い / 想いを伝えるのに、この表現でいいのか、これを言っているのかと迷ったり、また今これを言っているのか、今言うタイミングなのかと迷ってしまい、ついつい言いそびれてしまったりそのままだになってしまうということはままありますよね。とてもありがちなことなのですが、人には、ひょっとしたらもう、思い / 想いを伝えられなくなってしまうという可能性もあつたりします。

私の例で恐縮なのですが…同じく、エステ B プラン vol.20「言葉を紡いで相手に伝えよう～世の中は優しくできている」からの抜粋になります。(以下、抜粋)

私には、もうこれからは、自分の思いを誰にも伝えられなくなるという寸前というのがありました。それは 29 歳の時で、まだ独身のときでした。ある仕事で鹿児島へ出張中に、劇症肝炎という病気を発病しまして、状態が酷く、イッキに危篤状態まで行ってしまいました。家族はじめ関係者は全員鹿児島に呼ばれ、全く予断を許さない状態だったのです。

10 日間くらい、すごい高熱が続き生死の間をさまよってました。意識は多少あるのですが、ほぼ朦朧とした状態です。三途の川の夢も二晩続けて見たりもしました。そして、いろいろ経緯はありましたが、結局、その時の主治医の先生が今まで日本で前例は無いけれど思いついた治療方法があると言って、その方法を施していただき、それがピタリと当たって九死に一生を得ることができました。助かる可能性は数パーセントと言われていたのが、奇跡的に助かったのです。そしてお蔭様で今も元気に仕事をさせていただいております。もう、この一連のことには、今も感謝以外の何ものでもありません！

ありがたいことです

そしてじつは、その危篤状態で意識が朦朧としていた中ですっと思っていたことがあつたのです。

自分で後で考えてもビックリしたのですが、それは「もし良くなってカラダが回復すれば、あれをやりたいこれをやりたい」というような類のことでは全くありませんでした。

じつはずっと思いついていたのは、「両親に今までの感謝の言葉を伝えていなかった」、「お世話になったあの人にお礼の言葉を言えてなかった」、「今まで関わりのあつた人にありがとうを言い足りてなかった」、「謝らないといけない人にごめんなさいを言えてなかった」、こんな風なことばかりが頭の中をグルグルと駆け巡ってました。

これにはちょっとビックリしてしまいました。人は死に直面すると、こういうことを考えるものなのかもしれません。そしてひょっとしたら、それがとても大切なことなのかもしれません。それが生きるということなのかもしれません。生きるということは、人生の道でいろいろなことを経験して、人に感謝の気持ちを伝えることだとか、人にありがとうを伝えることだとか、その他いろいろな思いを伝えるということなのかもしれません。

私の場合は、幸い何とか生き延びることができましたが、もしあそこで命を落としていたら、もう自分の言葉を誰にも伝えることはできなかつたのです。そこから先、大切な人に自分の思いを伝えることは全くできなかつたのです。

そうなのです、誰もがひょっとしたら明日突然、何も思いを伝えることができなくなる可能性もあるのです。(抜粋 以上)

そう。私は死の直前まで行って奇跡的にも助かったから、今も私の思い / 想いを誰かに伝えることが出来ていますが、

それが出来なくなっていた可能性は大いにあつたわけです。

それともひとつ、これも身内のことで恐縮ですが…つい先日、私の妻のお父様が亡くなられました。とても優しいお父様でした。私のような出来の悪い婿にも、とても良くしていただきました。最近では新型コロナのこともあって、なかなかお会いできなかつたのですが、ご存命中にもっと感謝の言葉を直接伝えておきたかった、伝えておけば良かったと、とても後悔しております。

そうです。思い / 想いを伝えたい相手がいなくなってしまうと、自分の思い / 想いを伝えることは出来なくなってしまうのです。

伝えたい思い / 想いは、今、伝える

自分がこの世にいなくなっても、また何かを伝えたい相手の人がこの世にいなくなっても、もう何も伝えることは出来なくなってしまう。(誰かがこの世からいなくなることを前提として言っているわけではありません。ただ、可能性としてはあり得るということです)

ですから、自分の誰かに伝えたい思い / 想い、特に大切な相手に伝えたい大切な思い / 想いは、言葉で伝えることが出来る時になるべく伝えておきたいかがでしょうか。

自分の言葉が拙い、言葉の表現はこれでいいのだろうかと感じたり、今言っているのだからと迷ったり戸惑ったりすることもあるでしょうが、なるべく今、伝えられる時に伝えておきましょう。

あなたの思い / 想いをストレートに表現すれば、それが一番相手に響く言葉になるはずですし、その言葉を伝えることが出来る時というのが一番いいタイミングであるはずですよ。

今、新型コロナ禍の中で、自分自身の在り方や生き方、人との関係性の在り方等を模索している方がすごく多くなって来たと聞かれます。こういう世の中だからこそ、自分の思い / 想いは言葉にして伝えておきたいかがでしょう。特に、「どうしてもありがとうと言っておきたいこと」「や」「どうしても感謝の気持ちを表しておきたいこと」等は、なるべく今、言葉にして伝えておこうではありませんか。

「自分自身にとって大切な人たち」「自分自身にとって大切だと感じる人たち」というのは、この世で何かの縁があつて、自分の人生物語に登場してくれて、同じ時間・空間で触れ合い、その物語を彩ってくれている人たちなのですから、自分の思い / 想いは、ぜひ今、言葉にして伝えてみようではありませんか！

そこには、人間関係における新たな発見があるかもしれないですし、人間関係の新たな展開が待っているかもしれません！

皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます！



ZaiSapo
ザイサポ
株式会社財務サポートコンサルティング
代表取締役
片上 智英 (トモヒデ)
TEL 050-1523-1621
E-mail zaisapo55@ybb.ne.jp
HP <http://zaisapo.jp>

プロフィール
国立大学を卒業後、出版・広告関係の企業へ就職。主に営業・マーケティングを担当。その後、出版販売の会社へ転職。拠点マネージャーとして社員採用・育成指導等、拠点運営を20年余り担当。後、株式会社財務サポートコンサルティングを設立、現在に至る。医療関係・美容関係・飲食関係を中心にコンサルティング実績多数。また、大手通販会社と提携し、通販システム・ノウハウ提供のコンサルティングも現在展開中。